

＜金標準、今週は 6150 円に向けた調整場面＞



(出所：オアシス)

今週の金標準は、先週の好調な経済指標の発表から一転して金融政策の週に変化します。特に 22 日の ECB 理事会では、新型コロナ・ウイルスの感染拡大を受けて現在実行されているパンデミック緊急購入プログラム（PEPP）をラガルド ECB 総裁が積極的な緩和姿勢が長期化する可能性があるとの示す様であれば、為替市場ではユーロ売りに繋がる可能性が高くなり、ドル高の影響を受けて NY 金は 1750 ドルを試す動きを示す可能性が高まるだけに、金標準先物でも 6150 円～6100 円に向けた底固めには注意したい所です。

＜テクニカル＞

MACD は **MACD** と **シグナル** が上昇を続けており、売り込むサインは発生していません。また **10 日移動平均線** が上昇しながら、**40 日移動平均線** を上回るゴールデンクロスを示し、**40 日移動平均線** も下げ渋っており、強気のサインを示しています。ただ日足と **10 日移動平均線** の乖離幅が拡大しており、目先 6150 円～6100 円に向けた調整は必要です。

そのため今週は、6150 円以下は新規買いのチャンスと捉えて対応するのが良いと判断します。